

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：土木費 項：都市計画費 目：都市公園費

事業名 ぎふ清流里山公園維持管理費（指定管理者分）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

都市建築部 都市公園・交通局 都市公園課 整備管理係

電話番号：058-272-1111(内4916)

E-mail : c11669@pref.gifu.lg.jp

1 事 業 費 120,552 千円 (前年度予算額： 120,552 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	120,552	0	0	3,487	0	0	0	0	117,065
要求額	120,552	0	0	3,019	0	0	0	0	117,533
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

平成15年9月に地方自治法の一部を改正する法律が施行され、公の施設の管理運営について、指定管理者制度が創設された。ぎふ清流里山公園についても、民間の経営ノウハウの活用による利用者サービスの向上と経費の節減を図るため、平成17年8月から指定管理者制度を導入している。

- ・ 指定管理者：里山賑わい創出グループ ((株)エイチ・アイ・エス、古川紙工(株))
- ・ 第1期 平成17年8月1日～平成25年3月31日 (8年間)
- ・ 第2期 平成25年4月1日～平成30年3月31日 (5年間)
- ・ 第3期 平成30年4月1日～令和7年3月31日 (7年間)
- ・ 第4期 令和7年4月1日～令和14年3月31日 (7年間)

<指定期間を7年とした理由>

指定期間の延長により、指定管理者の公園への投資を促し、さらなる公園の活性化を図るため。

(2) 事業内容

- ・指定管理者制度の導入により、最小のコストで最大のサービスが提供できるよう経費節減を図り、適切な県営公園の管理運営を行う。
- ・指定管理者による都市公園の維持管理 120, 552千円

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・県（117, 533千円）、管理及び設置許可等収入（3, 019千円）

(4) 類似事業の有無

- ・養老公園維持管理費（指定管理者分）
- ・各務原公園維持管理費（指定管理者分）
- ・ぎふワールド・ローズガーデン維持管理費（指定管理者分）
- ・世界淡水魚園維持管理費（指定管理者分）
- ・岐阜県百年公園維持管理費（指定管理者分）

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	120, 552	公園の管理運営業務にかかる指定管理料の支払い
合計	120, 552	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

- ・快適かつ安全な公園管理のため、継続的に費用の確保が必要。

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
都市公園の適正な管理運営を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	達成率
入園者数 6公園全体	774万人	699万人	734万人	1,000万人	1,000万人	73.4%
ぎふ清流里山公園	64万人	62万人	69万人			

（これまでの取組内容と成果）

令和 4 年 度	(1) 鮎のつかみ取りなど、秋の里山収穫祭に自然体験と食体験を組み合わせて集客につなげた。 (2) 整備した園内ウォーキングコースを活用し、健康増進イベントを開催し、集客につなげた。 (3) 里山しいたけの森をオープンし売上増加につなげた。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和 5 年 度	(1) 秋の里山収穫祭に加え花火大会を開催し、集客につなげた。 (2) チューリップ、モネフィラ、ヒマワリなど季節の花々を栽培し、来園者の満足度向上に努めた。 (3) 土日休日を中心様々なイベントや催しを開催し集客につなげた。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和 6 年 度	(1) これまでの農業体験や収穫体験等に加えて、盆踊りイベントを新規に開催し、集客につなげた。 (2) 池にスイセンを播種するなど、植栽の充実を図ることで来園者の満足度向上に努めた。 (3) 土日休日を中心様々なイベントや催しを開催し集客につなげた。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	都市公園を管理運営することについては、県民のレクリエーションの空間となるほか、県のゲートウェイ機能としての役割も果たす観光資源として、事業の必要性が高い。
-----------	---

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり
2：期待どおりの成果あり
1：期待どおりの成果が得られていない
0：ほとんど成果が得られていない

(評価) 2	都市公園の適正な管理を概ね期待どおり実施している。
-----------	---------------------------

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価) 1	民間のノウハウを活用し、経費の節減を図りつつ、利用者サービスの向上に努めている。
-----------	--

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

公園施設の老朽化に伴う維持管理費の増加

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

県民、運営協働会議、県営公園指定管理者評価員会議等の意見を公園の管理運営に反映させ、指定管理者とともに、利用しやすく、サービスが充実した都市公園となるよう引き続き取り組んでいく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	